

学研ニューコースシリーズ
カラー版

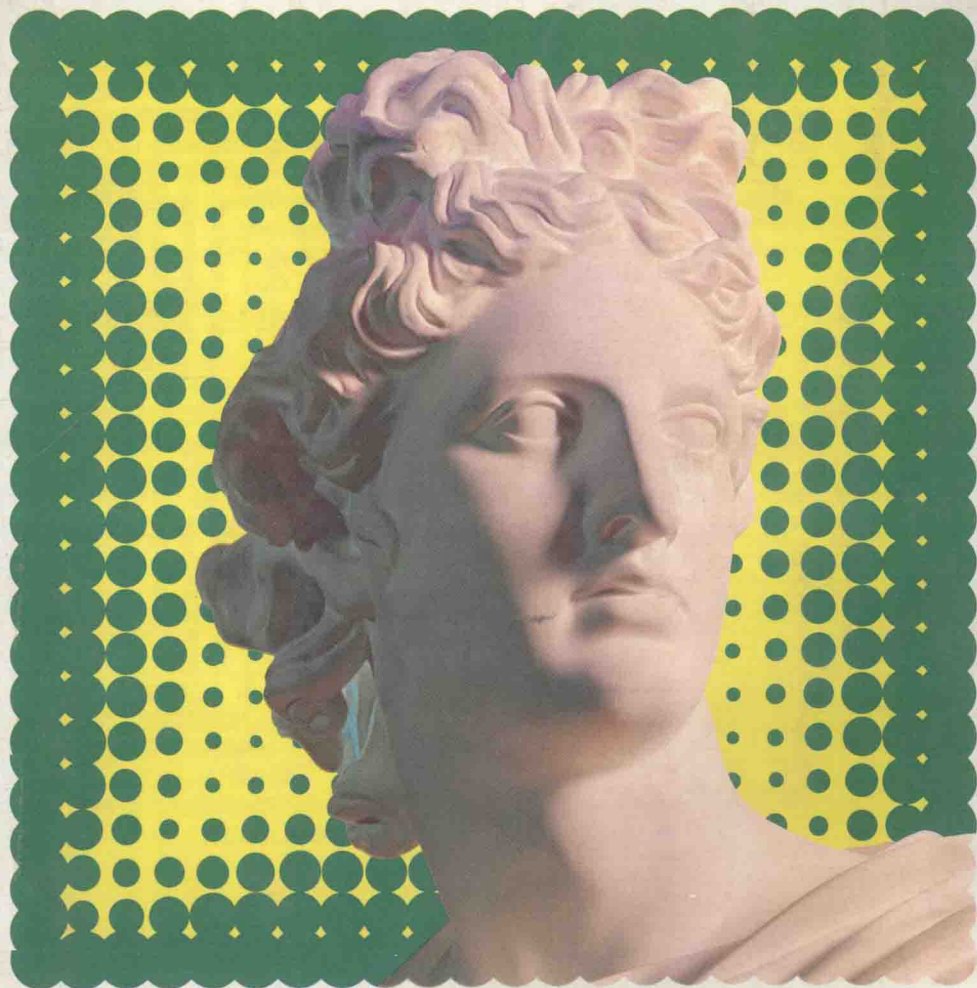
指導要領
準拠

中学社会地理

くわしくて理解しやすい

教科書の内容に合った中学生ピッタリの
参考書。教科書との対照表つき。

校閲 筑波大学名誉教授 尾留川正平



学研編



学研ニューコース シリーズ
カラー版

指導要領準拠

中学社会地理

校 閲

筑波大学名誉教授 尾留川正平

学 研 編

■教科書に合った実力アップの問題集

2色刷 学研ニューコース問題集

中学英語1年 中学数学1年 中学国語1年
中学理科1年 中学社会地理 中学社会歴史

■テストや予復習の速攻対策にピタリ

2色刷 スバリ要点(全15冊)

中学各学年用⇨英語 数学 理科/地 歴 公
中学全学年用⇨国語文法 漢字 歴史年代暗記

■学研の学年別 中学生学習・教養雑誌

中学一年コース

中学二年コース

中学三年コース

学研ニューコース・シリーズ

中学社会地理

定価 720円

昭和47年2月15日 初版発行

昭和50年2月15日 改訂新表記版発行

昭和52年8月1日 第4刷発行★

- ▶編者 学習研究社(学研)
- ▶発行人 児山敬一
- ▶編集人 加賀 信
- ▶発行所 株式会社 学習研究社
東京都大田区上池台4丁目40番5号
振替 東京8-142930 電話(720)1111
- ▶印刷所 岩岡印刷株式会社

この本の内容、製本に関するお問い合わせは、下記
までお願いします。

文書は⇒(〒145)東京都大田区上池台4丁目40番5号
学研 ユーザー・サービス部「学研ニューコ
ース」係

電話は⇒東京(03)720-1111(大代表)

©学習研究社 昭和47年

6325-643 355-1002

Printed in Japan

本書の特長と活用法

- ▶ **予習には** 予習では、教科書に目を通すほか、本書もあわせて利用すると効果があります。章のはじめの「教科書の総まとめ」や、節のはじめにある「重要ポイント⇒テスト前に見返そう」を、前もって読んでおくだけでも、りっぱな予習になるでしょう。
- ▶ **復習には** わからなかったところなど、本書をじっくり読んで解決しておきましょう。まちがえやすいところは「まちがえるな」で、だれもが疑問に思うような箇所は「?考えよう」で復習しましょう。わからない用語は「くわしく学ぼう＝重要用語」でしらべてください。各章ごとの「質問ルーム」の下に重要事項の記憶法もありますから、覚えるのに役立ちます。時間の余裕がない場合は、本文解説中の「最重点＝覚えよう」だけでも復習しておきましょう。
- ▶ **テスト対策には** 本文のほかに章末の「練習問題」で実力をためましょう。テスト直前には「重要ポイント⇒テスト前に見返そう」で、要点を確認するとよいでしょう。
- ▶ **くわしく一步進んだ学習には** 行間の補足説明や、参照ページを読み、他の地方との比較をしてください。「くわしく学ぼう＝重要用語」のほか、統計資料をじっくり読みこむこともたいせつです。
- ▶ **さくいんを学習に役だてるには** 重要な事項や用語・地名は、みなさくいんに出してあります。用語・地名を調べるときのほか、わからない項目を拾い出すときに利用すると便利です。本文で調べることによって、弱点を補強することができます。また、もくじのあとに「統計グラフ さくいん」と「?考えようさくいん」があります。各地域の特色を客観的に、あるいは深く考えるときに、拾い出してみましょう。
- ▶ **実力の腕だめしには** 章ごとに難易度によって3段階に分けた「練習問題」がっています。これをやると、実力を高めることができます。
- ▶ **統計資料や地図に強くなるには** 本書には、重要事項の補足説明として、あらゆる種類の地図やグラフが豊富に入れてあります。カラーを徹底して活用し、見やすく、しかも要点がよくわかるように工夫してありますから、これをじっくり読むだけでも、学習効果がぐんとあがります。

■本書のじょうずな読み方■ 本書の解説は、本文(大きな活字)と、ページ端や行間に示した補足的注意や解説などから成っています。まずきりのよいところまで本文を読み、そのあと本文外のものを見るようにしてください。するとよりなめらかに読めて、いっそうわかりやすく、深く学習できます。

もくじ



日本地理

◆第1章 身近な地域……………10

§1. 地形図の読み方……………11

①地形図 ②地形図のきまり

③地形図の作業 ④おもな地形図の読み方

§2. 身近な地域で学ぶ……………18

①ねらいと資料 ②地域の特徴

③他地域との関係

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………21

●練習問題……………22

◆第2章 日本の国土……………24

§1. 日本の位置と地形……………25

①日本の位置 ②日本の地形

§2. 日本の気候……………30

①温帯の気候 ②日本の四季

③日本の気候区 ④日本の植生

§3. 自然の災害……………36

①地形と災害 ②気候と災害

§4. 人口の分布……………38

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………39

●練習問題……………40

◆第3章 九州地方……………42

§1. 土地と人々……………43

①開発の歴史 ②人口 ③地形

④気候

§2. 北九州地方……………46

①工業 ②炭田地帯 ③農業

④水産業 ⑤交通と都市

§3. 中・南九州地方……………52

①農業 ②水力資源と工業 ③山地の生活

§4. 南西諸島……………54

①薩南諸島 ②沖縄

◇日本の中の九州……………56

①労働力・素材の供給地 ②観光・交通網の開発

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………57

●練習問題……………58

◆第4章 中国・四国地方……………60

§1. 土地と人々……………61

①開発の歴史 ②人口 ③地形

④気候

§2. 瀬戸内地方……………64

①工業 ②農業 ③海の生活

④都市と交通

§3. 南四国地方……………70

①農業 ②林・水産業と工業

§4. 山陰と中国山地……………72

①農業 ②山地の生活 ③開発

◇日本の中の中国・四国……………74

①西日本の廊下の役割 ②素材・労働力の供給地

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………75

●練習問題……………76

◆第5章 近畿地方……………78

§1. 土地と人々……………79

①開発の歴史 ②高い人口密度

③地形 ④気候

§2. 中央低地……………82

①阪神工業地帯 ②農業 ③都市と交通

§3. 北と南の山地……………88

①北部山地 ②南部山地

◇日本の中の近畿……………92

①西日本の交通の中心 ②近畿圏整備計画

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………93

●練習問題……………94

◆第6章 中部地方……………96

§1. 土地と人々……………97

①歴史 ②人口 ③地形 ④気候

§2. 東海地方……………100

①中京工業地帯 ②東海工業地帯 ③農業 ④水産業 ⑤名古屋

§3. 中央高地……………106

①農業 ②資源とその利用 ③工業

§4. 北陸地方……………110

①農業 ②雪国の生活 ③鉱工業

◇日本の中の中部……………114

①日本経済の大動脈 ②中部圏整備計画

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………115

●練習問題……………116

◆第7章 関東地方……………118

§1. 土地と人々……………119

①開発の歴史 ②集中する人口 ③地形 ④気候

§2. 東京、京浜工業地帯……………122

①首都東京 ②京浜工業地帯

§3. 東京周辺の地域……………128

①関東平野の農業 ②関東地方の水産業 ③資源と工業 ④観光と南の島々

◇日本の中の関東……………132

①集中する人口・物資 ②世界と結ぶ玄関

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………133

●練習問題……………134

◆第8章 東北地方……………136

§1. 土地と人々……………137

①開発の歴史 ②地形 ③気候

§2. 農牧業と水産業……………140

①稲作中心の農業 ②冷涼性作物と酪農 ③農村の変化 ④さかなの水産業

§3. 資源と工業……………144

①資源 ②工業

◇日本の中の東北……………148

①首都圏との結びつき ②開発計画が進む

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………149

●練習問題……………150

◆第9章 北海道地方……………152

§1. 土地と人々……………153

①開発の歴史と人口 ②地形 ③気候

§2. 農牧業と水産業……………156

①冷涼地の農牧業 ②さかなの水産業

§3. 鉱工業と総合開発……………160

①鉱業 ②工業 ③総合開発

◇日本の中の北海道……………164

①大規模な総合開発 ②首都圏と結ぶ交通 ③夏型の観光地

〈質問ルーム〉・要点記憶法……………165

●練習問題……………166

◆第10章 諸地域の結びつき……………168

§1. 国内交通……………168

①鉄道交通 ②自動車・海上・航空交通

§2. 人や物資の動き……………170

①人の移動 ②物資の移動

●練習問題……………172

■■■■■■ 世界地理 ■■■■■■

◆第11章 世界の自然と人々……………174

§1. 地球儀と世界地図……………175

①地球の表面 ②地球儀 ③世界地図

§2. 世界の地形……………182

- ①世界の山地 ②世界の川と平野・湖 ③世界の海洋 ④世界の海流
- § 3. 世界の気候と人々…………… 186
- ①気候の要素 ②世界の気候区分 ③世界の人々
- 練習問題…………… 192
- ◆第12章 アジア…………… 194
- § 1. 土地と人々…………… 195
- ①位置と歴史 ②地形 ③気候 ④人口と民族
- § 2. 東アジア…………… 198
- ①朝鮮 ②中国 ③モンゴル人民共和国
- § 3. 東南アジア…………… 204
- ①歴史と自然 ②住民と宗教 ③インドシナ半島の国々 ④マレーシア, シンガポール ⑤インドネシア, フィリピン
- § 4. 南アジア…………… 208
- ①歴史と自然 ②住民と宗教 ③農業 ④鉱工業 ⑤開発
- § 5. 西南アジア…………… 212
- ①自然と歴史・民族 ②ゆたかな石油資源 ③乾燥帯の生活
- ◇世界の中のアジア…………… 216
- ①新しい民族運動 ②経済の自立をめざす
- <質問ルーム>・要点記憶法…………… 217
- 練習問題…………… 218
- ◆第13章 アフリカ…………… 220
- § 1. 土地と人々…………… 221
- ①開発の歴史 ②地形 ③気候 ④アフリカの人々
- § 2. 北アフリカ…………… 224
- ①エジプト=アラブ共和国 ②バルバリ地方
- § 3. 中・南アフリカ…………… 228
- ①ギニア湾岸地方 ②コンゴ川流域の国々 ③東アフリカ ④南部アフリカ
- ◇世界の中のアフリカ…………… 234
- ①世界の第3勢力へ ②開発へのけわしい道
- <質問ルーム>・要点記憶法…………… 235
- 練習問題…………… 236
- ◆第14章 ヨーロッパ…………… 238
- § 1. 土地と人々…………… 239
- ①位置と歴史 ②地形 ③気候 ④民族と宗教
- § 2. 西ヨーロッパ…………… 242
- ①西ヨーロッパの国々 ②西ドイツ ③フランス ④ベネルクス・アルプス諸国 ⑤イギリス
- § 3. 南ヨーロッパ…………… 252
- ①南ヨーロッパの国々 ②気候と農業 ③イタリア ④スペイン・ポルトガル・ギリシア
- § 4. 北ヨーロッパ…………… 256
- ①きびしい自然 ②高い生活水準 ③デンマーク ④ノルウェー ⑤スウェーデン ⑥フィンランド
- ◇世界の中のヨーロッパ…………… 260
- ①面積と人口 ②産業と文化
- <質問ルーム>・要点記憶法…………… 261
- 練習問題…………… 262
- ◆第15章 ソ連と東ヨーロッパ…………… 264
- § 1. 土地と人々…………… 265
- ①位置と歴史 ②地形 ③気候
- § 2. ソビエト連邦…………… 268
- ①鉱工業 ②農牧業と開発 ③ソ連の諸地域
- § 3. 東ヨーロッパ…………… 274
- ①ソ連圏の社会主義国 ②ポーランド, チェコスロバキア ③東ドイツ ④ドナウ川流域の国々

◇世界の中のソ連・東ヨーロッパ… 278
 ①広い国土、多い人口 ②世界的な産業 ③資本主義国との貿易
 〈質問ルーム〉・要点記憶法… 279
 ●練習問題… 280

◆第16章 アングロアメリカ… 282
 §1. 土地と人々… 283
 ①位置と歴史 ②地形 ③気候
 §2. アメリカ合衆国… 286
 ①農牧・林・水産業 ②世界の鉱工業 ③大規模な開発 ④発達した交通・貿易 ⑤アラスカとハワイ ⑥合衆国の発展と問題
 §3. カナダ… 294
 ①国土と人口 ②農林・水産業 ③発展する鉱工業・貿易

◇世界の中のアングロアメリカ… 296
 ①若い大陸、大都市 ②世界を支配する産業
 〈質問ルーム〉・要点記憶法… 297
 ●練習問題… 298

◆第17章 ラテンアメリカ… 300
 §1. 土地と人々… 301
 ①歴史 ②複雑な住民 ③地形 ④気候
 §2. 中央アメリカ… 304
 ①メキシコ ②地峡部の国々 ③西インド諸島の国々 ④経済
 §3. 南アメリカ… 308
 ①ブラジル ②アルゼンチン ③アンデスの国々

◇世界の中のラテンアメリカ… 312
 ①食料・原料の供給地 ②米州機構の一員 ③日本との関係
 〈質問ルーム〉・要点記憶法… 313
 ●練習問題… 314

◆第18章 オセアニア、北極・南極… 316

§1. 土地と人々… 317
 ①歴史 ②オセアニアの人々 ③オセアニアの自然 ④北極と南極

§2. オーストラリア… 320
 ①農牧業 ②鉱工業

§3. オセアニアの島々… 324
 ①ニュージーランド ②太平洋の島々

§4. 北極・南極… 326
 ①北極 ②南極

◇世界の中のオセアニア… 328
 ①食料・原料の供給地 ②日本との関係
 〈質問ルーム〉・要点記憶法… 329
 ●練習問題… 330

◆第19章 世界の結びつき… 332
 §1. 世界の交通と通信… 333
 ①鉄道交通と自動車交通 ②海上交通・航空交通、通信
 §2. 世界の貿易… 335
 ①世界の資源と産業 ②貿易国と貿易品 ③世界の貿易の特色と問題
 〈質問ルーム〉… 339
 ●練習問題… 340

◆第20章 世界の中の日本… 342
 §1. 世界との結びつき… 343
 ①日本の人口と産業 ②日本の産業の特色 ③国際分業と日本の貿易 ④日本の国際交通
 §2. 国土の利用… 352
 ①かたよる人口分布 ②農業地域の変化 ③広がる工業地域 ④新しい国土の建設
 ●練習問題… 359
 * * * * *

◆練習問題の解答… 361
 ◆さくいん… 367

統計グラフ さくいん

日本地理

■ 地形と気候

▷日本の川のこう配	28
▷うぐいすが鳴きはじめる日	31
▷地方別台風上陸回数	32
▷日本の気候区分	33
▷九州地方の気候	45
▷中国・四国の気候	63
▷台風と二期作の関係	70
▷近畿地方の気候	81
▷中部地方の気候	99
▷関東地方の気候	121
▷東北地方の気候	139
▷北海道の気候	155

■ 都市と人口

▷統計グラフ	19
▷分布図	19
▷地域別人口の割合(全国)	38
▷地域別人口密度(全国)	38
▷県別人口割合(九州)	44
▷沖繩の面積と人口	55
▷人口の増減(九州)	56
▷中国・四国の人口分布	62
▷中国・四国地方の転出人口	74
▷近畿地方の人口密度	80
▷京都市の観光客数の推移	86
▷地域別の人口割合(中部)	98
▷10大都市	105
▷地方別人口(全国)	120
▷世界の大都市人口	122
▷東京都の全国に占める割合	123
▷人口の増加(関東)	132
▷北海道の人口増加	154
▷人口の増加地域・減少地域	170
▷日本の人口の推移	344
▷各国の年齢階級別人口構成	344
▷おもな国の産業別人口	344
▷公害を訴えた件数	357

■ 農牧業・林業・水産業

▷県別の米の生産(九州)	49
▷動力耕うん機の普及率(九州)	50
▷県別漁獲量の割合(全国)	51
▷中・南九州の農牧生産	53
▷1戸あたり耕地面積(中国・四国)	67
▷いぐさの生産	67
▷台風と二期作の関係	70
▷日本なしの生産	72
▷集約農業	85
▷京都・大阪・兵庫の耕地転用面積割合	85

▷兵庫県の牛飼育頭数の変化	88
▷大阪に入荷する野菜の産地	90
▷みかんの生産高	91
▷茶の生産高	104
▷焼津港の水揚げ高	105
▷10a あたりの米の収穫高	106
▷ぶどう・ももの生産	107
▷木材の生産	108
▷米の地方別生産高割合	110
▷米の移出割合	111
▷地方別の水田率	111
▷畑作物の生産高割合	128
▷おもな漁港の水あげ高(関東)	130
▷米の県別生産高	140
▷東北各県の水田率	141
▷りんご生産高	142
▷わが国の家畜頭数の移りかわり	142
▷都道府県別の漁獲高、漁港別水あげ高	143
▷北海道のおもな農作物の全国に占める割合	157
▷乳牛飼育頭数	158
▷わが国の漁獲高	159
▷おもな漁港と水あげ量(北海道)	159
▷北洋漁業の漁獲高変化	159
▷おもな国の土地利用	343
▷日本の農業生産の変化	345
▷日本の農家数・農家人口・専業農家の減少	345
▷各国の農業生産性の比較	345
▷日本の森林所有	346
▷木材の需要	346
▷漁業種類別の漁獲高	346
▷漁業の経営割合	346

■ 鉱工業

▷北九州工業地帯の地位	46
▷北九州工業地帯の生産のうちわけ	47
▷地方別出炭量の割合	48
▷出炭量の変化(炭田別)	48
▷炭田別出炭量の割合(九州)	49
▷奄美大島のさとう生産の変化	55
▷4大工業地帯の金属工業	57
▷地域別工業生産	64
▷瀬戸内工業地域の生産	66
▷重化学工業の割合(工業地帯別)	75
▷阪神工業地帯の地位	83
▷阪神工業地帯の工業生産	84
▷日本のすずの生産	89
▷中京工業地帯の工業生産額割合	101
▷東海地方の工業生産	102
▷パルプ・紙の生産	102
▷精密機器の生産額	109
▷絹織物の生産	112
▷石油と天然ガスの産出	112
▷北陸工業地域の工業	113

▷各工業地帯のせんの割合…………… 115
 ▷四大工業地帯の生産額割合の変化…………… 124
 ▷四大工業地帯の機械工業の割合…………… 125
 ▷銅と鉄鉱石の産出高…………… 130
 ▷鉱産資源の生産高割合…………… 144
 ▷東北地方の工業生産額…………… 147
 ▷府県別出炭量と炭田別出炭量…………… 161
 ▷北海道の工業生産の割合…………… 162
 ▷おもな国の工業生産指数…………… 347
 ▷日本の工業生産額の変化…………… 347
 ▷おもな国の工場規模…………… 347
 ▷日本の大工場と中小工場…………… 347
 ▷工業生産額割合(地域別)…………… 355

■ 交通・貿易

▷瀬戸内の船種別輸送量……………69
 ▷港別の貿易額……………87
 ▷主要貿易港の貿易額…………… 132
 ▷わが国の輸送状況…………… 169
 ▷おもな国の鉄道輸送量…………… 333
 ▷おもな国の道路舗装率…………… 334
 ▷おもな国の商船保有量…………… 334
 ▷おもな国の定期航空旅客輸送量…………… 334
 ▷おもな国の輸出入内容…………… 348
 ▷日本のおもな資源の輸入依存率…………… 348
 ▷日本のおもな貿易品…………… 349
 ▷日本の大陸別輸出入割合…………… 349
 ▷日本の国別輸出入割合…………… 349
 ▷日本のおもな貿易品の輸出入相手国…………… 349
 ▷日本の品目別売上高に上る外国資本の企業の売上高…………… 350
 ▷おもな国の輸入制限品目数…………… 350
 ▷世界の商船進水量、保有量…………… 351
 ▷日本船の積み取り比率…………… 351

世界地理

■ 地形と気候

▷熱帯と温帯の気候…………… 188
 ▷冷帯と寒帯の気候…………… 189
 ▷緯度の比較…………… 239
 ▷西岸海洋性気候と地中海性気候…………… 241
 ▷ヨーロッパの面積…………… 260
 ▷ソ連の気候グラフ…………… 267
 ▷ソ連・東ヨーロッパの面積…………… 278

■ 都市と人口

▷世界の人口…………… 190
 ▷革僑の分布…………… 205
 ▷産業別人口構成…………… 216
 ▷国民所得(1人あたり)…………… 216
 ▷国連の勢力分野…………… 234
 ▷西ヨーロッパ各国の面積と人口…………… 242
 ▷世界各国の観光収入…………… 249
 ▷おもな国の1人あたり国民所得…………… 257
 ▷おもな国の1人あたり社会保障費…………… 259
 ▷ヨーロッパの人口…………… 260
 ▷ソ連の地域別人口…………… 272

▷ドナウ川流域の国々と民族…………… 277
 ▷ソ連・東ヨーロッパの人口…………… 278
 ▷カナダの産業別人口…………… 294
 ▷1人あたり国民所得…………… 318
 ▷各国の年齢階級別人口構成…………… 344
 ▷おもな国の産業別人口…………… 344

■ 農牧業・林業・水産業

▷中国の農産物…………… 201
 ▷天然ゴム生産高…………… 207
 ▷茶とジュートの生産…………… 210
 ▷西ドイツの農業生産…………… 245
 ▷ヨーロッパ3国の食料自給率…………… 247
 ▷イギリスの土地利用…………… 251
 ▷世界のぶどう生産高…………… 253
 ▷1haあたり米の収量…………… 255
 ▷北ヨーロッパ諸国の土地利用…………… 257
 ▷ソ連の土地利用…………… 270
 ▷木材生産高…………… 270
 ▷ソ連の農牧生産の世界的地位…………… 270
 ▷農民1人あたり耕地面積と農業所得…………… 286
 ▷おもな農作物…………… 287
 ▷カナダの土地利用…………… 294
 ▷パナナの生産…………… 306
 ▷かんしゃ糖の生産…………… 307
 ▷コーヒーの生産…………… 309
 ▷主要国の肉の消費…………… 322
 ▷小麦カレンダー…………… 322
 ▷おもな国の土地利用…………… 343
 ▷各国の農業生産性の比較…………… 345

■ 鉱工業

▷すず産出高…………… 207
 ▷世界の綿織物生産…………… 211
 ▷石油埋蔵量と産出高…………… 214
 ▷ゴムの生産割合…………… 217
 ▷ダイヤモンドの生産高…………… 231
 ▷世界の金の生産高…………… 233
 ▷世界の鉄鋼生産…………… 243
 ▷自動車生産…………… 244
 ▷西ドイツの工業…………… 244
 ▷フランスの工業…………… 246
 ▷世界のパルプ生産…………… 257
 ▷世界の新聞用紙生産…………… 257
 ▷粗鋼生産高…………… 260
 ▷おもな地下資源の国別産出高割合…………… 268
 ▷ソ連の工業生産の世界的地位…………… 269
 ▷世界に上るソ連と合衆国の生産…………… 278
 ▷おもな資源の生産…………… 288
 ▷合衆国の工業生産…………… 289
 ▷おもな国のエネルギーと鋼消費量…………… 293
 ▷石油の自給率…………… 293
 ▷鉄鉱石の自給率…………… 293
 ▷世界の売上高上位200社の国別割合…………… 296
 ▷銀の国別生産高割合…………… 305
 ▷ボーキサイトの生産…………… 307
 ▷石油生産…………… 311
 ▷羊毛の国別生産高割合…………… 320
 ▷オーストラリアの工業生産の伸び…………… 323

▷おもな地下資源の地域別・国別産出量の割合	335
▷おもな国の工業生産指数	347
▷おもな国の工場規模	347
▷世界の商船進水量	351

■ 交通・貿易

▷東南アジア各国の輸出品	207
▷アジア各国の輸出品	216
▷エジプトの貿易	226
▷ガーナの輸出品	229
▷ナイジェリアの輸出品	230
▷西ドイツの貿易	245
▷世界輸出総額に占める各国の割合	245
▷西ドイツの輸出相手国	245
▷フランスの輸出相手国	247
▷フランスの貿易	247
▷ベルギー、ルクセンブルクの輸出	248
▷オランダの輸出	248
▷スイスの輸出品	249
▷世界の商船保有量	251, 334, 351
▷イギリスの輸出品	251
▷イギリスの輸入品	251
▷イタリアの輸出品	254
▷イタリアの輸入品	254
▷デンマークの輸出品	258
▷スウェーデンの輸出	259
▷世界の輸出高割合	260
▷ソ連と社会主義国の輸出相手国	266

▷ソ連への輸出割合	274
▷ポーランドとチェコスロバキアの輸出品	275
▷東ドイツの輸出品	276
▷ソ連の日本への輸出品	278
▷合衆国の貿易	291
▷世界の小麦・バイブの輸出	295
▷カナダの輸出相手国・輸出品	295
▷輸出に占める合衆国とカナダの割合	296
▷日本と合衆国の貿易	296
▷中央アメリカの主要輸出品	306
▷中央アメリカ各国の輸出相手国	307
▷ブラジルの輸出	309
▷アルゼンチンの輸出品	310
▷アルゼンチンの輸出相手国	310
▷メキシコの貿易	312
▷羊毛の国別輸出割合	321
▷オーストラリアの輸出割合	321
▷ニュージーランドの輸出	324
▷世界の食料・原料の輸出	328
▷オーストラリアの輸出相手	328
▷オーストラリアの輸入相手	328
▷おもな国の鉄道輸送量	333
▷おもな国の道路輸送率	334
▷おもな国の定期航空旅客輸送量	334
▷世界の国別貿易の割合	337
▷世界輸出貿易の発展と地域別輸出額割合	338
▷おもな国の輸出内容	348
▷世界の輸出貿易に占める各国の割合	350
▷おもな国の輸入制限品目数	350

? 考えよう さくいん

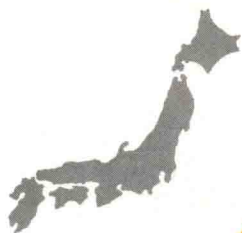
■ 日本地理

▷等高線で海や湖の深さが読めるか	13
▷なぜ三角洲をデルタというのか	16
▷身近な地域の範囲は?	19
▷山地と山脈のちがいは?	27
▷北海道や東北北部には、なぜ梅雨はないか?	32
▷北九州工業地帯の範囲は?	47
▷炭田のあとの利用は?	49
▷畑作がさかんなのに、なぜ所得が低いか?	52
▷現在瀬戸内の工業用水は不足していないか?	65
▷工芸作物と商品作物のちがいは?	67
▷高知平野以外の二期作地は?	71
▷平野が少ないのに稲作がさかんな理由は?	72
▷私鉄が発達したわけは?(近畿)	87
▷輸出するのは静岡みかんだけ?	104
▷高原野菜の栽培がさかんになった理由は?	107
▷米の収入安定の理由は?	111
▷北陸地方に絹織物業が発達した理由は?	112
▷大都市へ人口が集中するのはなぜか?	120
▷大正以後のびた理由(京浜工業地帯)	124
▷鹿島工業地域の将来は?	126
▷地盤沈下はなぜ起るのか?	127

▷三浦半島や房総半島の近郊農業の特色は?	129
▷機業地はどのように変わってきたか?	131
▷東北地方の人口がとくに減少するのはなぜか?	138
▷東北地方に在来工業がなぜ発達した?	146
▷東北地方に工場の進出がめだつ理由は?	147
▷馬の数がへったのはなぜか?	158
▷北海道近海がよい漁場である理由	159
▷重化学工業の拠点に苫小牧が選ばれたのは?	162

■ 世界地理

▷温帯の西岸が東岸より高温なのはなぜか?	186
▷地中海地方が夏に乾燥するのはなぜか?	189
▷なぜヨーロッパに産業革命が起こったか?	240
▷ベルリンはなぜ2つに分割されたか?	244
▷なぜ熱帯高地に都市が発達するのか?(ラテンアメリカ)	302
▷パナマ運河の所有権をなぜ合衆国がもつたか?	306
▷単一耕作はなぜ不安定か?(ブラジル)	309
▷小麦の収穫期が北半球と逆だと、なぜ有利か?(アルゼンチン)	310



日本地理


	第1章 身近な地域	10
	第2章 日本の国土	24
	第3章 九州地方	42
も	第4章 中国・四国地方	60
く	第5章 近畿地方	78
	第6章 中部地方	96
じ	第7章 関東地方	118
	第8章 東北地方	136
	第9章 北海道地方	152
	第10章 諸地域の結びつき	168

第1章 身近な地域



▲山あいの小さな平地＝河岸段丘…山梨県桂川，上野原付近

	位置と代表例	等高線	特色と土地利用
河岸段丘	山間の谷底平野 ①川の上流の谷で川の両岸に発達 <small>てんりょうかつらかなしな</small> ②天竜・桂・片品川	間かくが複雑 <small>だんきゅうめん</small> ①段丘面は等高線の間かくが広い ②段丘崖はせまい	階段状。果樹園などに利用 ①川の兩岸の階段状の土地 ②段丘面は果樹園などの畑に ③段丘崖は森林・竹林などに
扇状地	山地と平野の境 ①川が山地から急に平野に出る所 ②甲府・松本盆地	間かくが広い ①間かくが広い。 ②扇頂部を中心に扇形に広がる。	水が不便。果樹園などに利用 ①つぶの荒い砂や石が堆積 ②扇央は果樹園・桑畑に利用 ③扇端は水田・集落が多い。
三角州	川の出口 ①川が海や湖 <small>あづみ</small> に流れだす川口付近 ②広島・徳島平野	少なく見にくい ①補助曲線が見られる場合がある ②水準点 <small>すいじんてん</small> に注意	低湿。水田に利用 ①細かい土砂 <small>どし</small> が川口に堆積 ②水田に多く利用 ③村や耕地 <small>ていぼち</small> を堤防でかこむ。

コース・パイロット 

身近な地域

地形図の読み方

身近な地域で学ぶ

§1. 地形図の読み方

【ニューコース問題集では】 問題 1~6, 10~13, p.134-1

山の上から周囲を見わたせば、川や海岸のようすや、町のようす、田や畑の分布などがよくわかる。地形図は、このような地形や人々の生活の特色を、ある約束にしたがって図式化したものであるから、正確な地図で、約束された記号を正しく読めば、人々の生活がくわしく観察できる。

重要ポイント ⇨ テスト前に見返そう

① 地形図…国土地理院発行の①実測図

- ① 5万分の1…全国の基本図
 - ② 2万5千分の1
 - ③ 1万分の1
- } 主要な地域だけ

② 地形図のきまり

- ① 方位…ふつう上が北、下が南
- ② 縮尺…分母が小さいほど実際に近い
- ③ 距離…地図上の長さ×縮尺の分母
- ④ 等高線…土地の高低・傾斜がわかる

傾斜

- 急傾斜…間かくがせまい。
- ゆるやかな傾斜…間かくが広い

⑤ 記号…建物と土地利用の記号がある

③ 段彩図と土地利用図

- ① 段彩図…土地の起伏がわかる。
- ② 土地利用図…田・畑・果樹園など

④ おもな地形図の読み方

- ① 地形…河岸段丘・扇状地・三角州など
- ② 産業・集落…工業地帯・都市など

① 地形図 = 地図の基本になる実測図 =

地形図は、実際に測量したり、航空写真を図化機とよぶ機械にかけて作成した精巧な地図で、日本の地図の基本図である。建設省国土地理院で発行する。

① 地形図の種類

地形図には5万分の1、2万5千分の1、1万分の1の3種類がある。

- (1) 5万分の1地形図…全国にわたって発行されている⇨全国基本図
- (2) 2万5千分の1の地形図…平野部や主要都市など、利用度の高い地域のものだけが発行されている⇨将来の基本図
- (3) 1万分の1地形図…主要都市だけ



▲航空写真…最近では技術の発達で、航空写真をもとに作図する。

くわしく 重要用語

① 実測図

三角測量や地形測量など、実際に測量して作成した地図。国土地理院発行の5万分の1地形図や2万5千分の1地形図がこれにあたる。縮さん図(p.12参照)に対することばである。

くわしく 重要用語
学ぼう

② 編さん図

目的に合わせて編集された地図。分布図・密度図や地図帳の地方図など。

② 地勢図

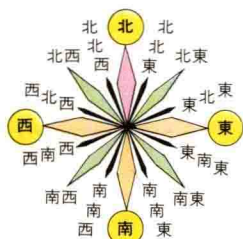
広い地域の土地の起伏や高低を、大づかみできるように編集した編さん図である。

- (1) 国土地理院発行の20万分の1図
(2) 地図帳の地方図など

正確な高さははかることはできない

② 地形図のきまり = 方位・縮尺・等高線・記号 =

地形図のきまりは、すべての地図の基本であり、このきまりを理解していれば方位・距離・土地の高低、人々の生活のようすなどを読むことができる。



▲16方位…指示する方向にもっとも近い名称でよぶ。

① 方位

地図上では、ふつう上が北になるように示すのがきまりでよび方にはふたとおりある。

- (1) 北または南を基準にして示す…北45°西、南35°東などのように、指示しようとする方位と北から45度西のほうの角度で示す。
(2) 16方位で示す…左図のように円を16等分して、それぞれに名称をつけ、指示しようとする方位をそれに近い名称で示す⇒北西、南南東、北北西など

- (3) 特別な場合は、矢印で北を示す。

《参考》磁石の示す北(磁北)と、真の北(真北)では、少しずれがある。地形図では、そのずれを欄外に示しているものもあるから、真北を示す矢印に磁石の北をあわせて地形図を読むとよい。高緯度ほどずれが大きいのがふつうだが、日本の場合磁北は真北より3~10°西へずれている。

最重点 ◀ 覚えよう ▶

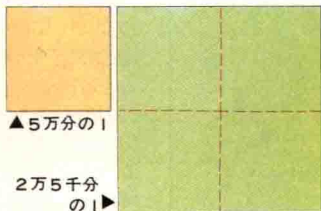
地形図の方位⇒上が北の方位を示す。

③ 方位

方角のこと。北または南が基準になり、北東、南南西などのようによぶ。また、北20°東、南30°西などのようなよび方で方位を示す場合もある。



▲北を基準にして



▲縮尺の比較…縮尺の分母が小さいほど実際に近づく。大縮尺である。

② 縮尺

広い地域を地図にあらわすには、実際の距離をちぢめる必要がある。縮尺とは、実際の距離に対する地図上の長さの比率をいう。

- (1) 5万分の1, $\frac{1}{50,000}$, 1:50,000 のように表現する
(2) 分母の数が小さいほど、実際の長さに近い…実際の長さに近いほど、大きな縮尺の地図であるという。

●まちがえるな 大縮尺と小縮尺 大きな縮尺とは「縮尺率が大い」という意味ではなく「同じ範囲を大きく表した」ものこと。5万分の1より2万5千分の1のほうが大きな縮尺の地図である。

- (3) 地図から実際の距離を求める方法(例: 5万分の1で4cmの場合)⇒4cm×50,000=200,000cm=2km

- (4) 実際の面積…地図上から実際の距離を求めたうえで、計算しなければならない。

●**まちがえるを** 実際の面積と距離 縮尺は長さを縮小した割合を示したもので、面積の縮小の割合を示したものではない。長さを2分の1に縮小すれば、面積は4分の1になる。

③ 等高線

地形図では、地形の特色を等高線であらわす。等高線から土地の高低や傾斜のようすがわかる。

- (1) 高低をあらわす…5万分の1地形図では、高さ

20mごとに等高線が引かれている。傾斜のゆるやかなところではさらにその間に10mごとや5mごとに破線の等高線が示されることがある。

- (2) 傾斜…等高線の間かくで読む

- ① 急傾斜…せまい間かく
② ゆるい傾斜…広い間かく

- (3) 谷と尾根の区別

- ① 谷…等高線が高いほうへくいこむ。

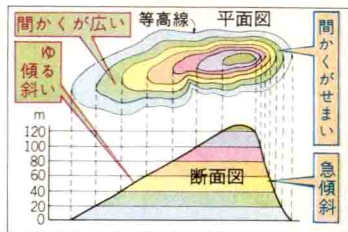
- ② 尾根…等高線が高いほうから低いほうへはりだす。

●**重要点** 覚えよう

等高線の性質…間かくがせまいところは急傾斜

？ 考えよう 等高線で海や湖の深さが読めるか？

等高線は陸地の高低をあらわす線で、海や湖の深さはあらかわさない。海底の地形のようすは海図で読みとれる。



▲等高線と傾斜…山頂より左側と右側を比較してみよう。右側のほうが等高線が密であり、左側より傾斜が急である。

④ 等高線

陸地の同じ高さの点を結んだ線で、土地の起伏のようすをあらわす。□の記号で示された水準点を基準に、土地の高度を測量して図上に描いている。

▲等高線の種類

名称	1/5万	1/2.5万	表し方
計曲線	100mごと	50mごと	—
主曲線	20mごと	10mごと	—
補助曲線	10mごと 5mごと	5mごと 2.5mごと	---



▲谷と尾根…赤い点線部分が尾根、青い点線部分が谷である。

④ 地図記号 (昭和40年式)

地形図では、④土地利用・建造物・交通路など、地上のようすはすべて記号で表される。記号は地形図のらん外に示されている。

- (1) 記号は、実物や文字を図案化しているものが多い。
(2) 田・畑・果樹園などの土地利用のようすは、その範囲を縮尺の割合どおりに示してある…面積の比較ができる。
(3) 建造物・集落・鉄道・道路などは、位置や特色をあらわすだけである…縮尺の割合どおりにちぢめてない。

●**まちがえるを** 新しい地図記号と古い地図記号 現在発行されている地形図は、まだ35年式の古い記号を使ったものがある。

⑤ 土地利用

生活のための土地の使い方。利用の目的から、耕地・牧草地・森林・宅地などに分けられる。地形図では、耕地はさらに田・畑・果樹園・桑畑・茶畑など、作物の種類を記号で区分している。

記号	名称と意味	記号	名称と意味	記号	名称と意味
△	三角点 } 測量の基準。 水準点 } 高さがわかる	○	広葉樹林…葉の形	◎	市役所…市の中心
□		○	広葉樹林(昭和35年式)	○	役場…町村の中心
〃	田…稲の形	△	針葉樹林…葉の形	卍	神社…鳥居の形
〃	水田(昭和35年式)	△	針葉樹林(昭和35年式)	卍	寺院…仏教で円満の意味
∨	畑…野菜の芽の形	∩	城・城跡…城の形	文	学校…文部省の「文」
Y	桑畑…桑の木 of 形	×	探鉱地…鉱石を掘るハンマーの形	〒	郵便局…てい信省の「テ」
∴	茶畑…茶の実の形			ギ	工場…機械の歯車
○	果樹園…くだもの形	田	病院…たてと十字	ギ	発電所…タービンの羽根

▲地図記号…田・広葉樹林・針葉樹林などのように、記号を定めた年によって記号がかわっているものがある。

③ 地形図の作業 = 断面図・^{だんさい}段彩図・土地利用図 =

地形図になれていると、身近な地域を調べるのに役立つ。地形図になれ、正しく読めるようになるために、いろいろな作業をしてみよう。

くわしく学ぼう 重要用語

⑥ 断面図

山地などの傾斜や起伏のようすを見るために、便宜的に山地をたてに切ったものとして考え、その切りくちの面を図に表したものを。

⑦ 段彩図

ある2本の等高線の間を、高度別に色を変えてぬりつぶし、高さの変化がわかるように着色した図。

① 断面図・^{だんさい}段彩図

山地など、土地の傾斜を見るのには断面図、広い範囲の起伏の状態を見るのには段彩図が役立つ。

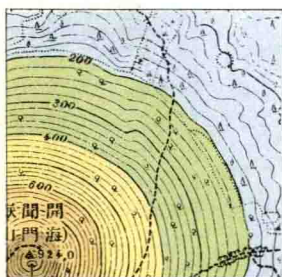
- (1) 断面図…高さの割合を大きくすると特色がはっきりする。
- (2) 段彩図…地図帳の地方図などが一例。広い範囲の土地の起伏の状態が概観できる。

② 土地利用図

田・畑・森林などを一定の色でぬり分ける。着色には一定の約束はないが、下図の色分けが一般的である。

③ 面積のはかり方

うすい方眼紙をのせて、方眼の数をかぞえてほしい面積を出す。



▲段彩図



▲土地利用図



▲面積の求め方…2mm方眼のら5万分の1では10,000m²。